

**令和3年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和3年12月  
海老名市立海老名小学校**

令和3年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

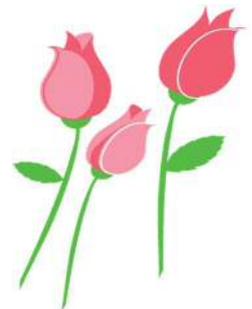
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

## 調査実施日

令和3年5月27日(木)



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にし、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 目的に応じ、話の内容が明確になるように文章の構成を考えること。

### ◆課題のある点

- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。
- 文の中における主語と述語、修飾・被修飾との関係を捉えて書くこと。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 各目的や意図に応じて文章全体の構成や表現を振り返る時間を設ける。また児童同士が互いに文章を読み合い、具体的に助言し合う場面を学習の展開の中に取り入れる。
- 教材文など学習の際、主語や述語、修飾・被修飾を理解させ、児童が積極的に活用できる場面を設定する。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

- 速さの公式や面積を求める公式など既習の公式を用いて立式し、計算処理をすること。
- グラフや表などの資料から必要な情報を読み取ること。

### ◆課題のある点

- 基準量を1とした時の比較量が小数の割合に当たる理由を数直線や言葉や数を用いて記述すること。
- 知識としては、理解しているがその求め方などについて、言葉や数を用いて記述すること。
- 基礎的な図形や数式であっても、既習のイメージと違った問題提示をされた場合に、既習の知識を応用して課題解決すること。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 図、数、式、表、グラフといった数学的な表現の方法を問題解決に生かしたり、思考の過程や結果を言葉と数で表現して説明したりする機会を増やす。
- 単に問題を解決するのみならず、問題解決の過程や結果を振り返って、得られたことを多角的な視点で捉え直したり、新たな問題を見出したりすることでイメージを伴って数や図形を応用する機会を増やす。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」と答える児童が全国平均よりも多い。式を使ってわけや求め方を書いたり、問題の解き方を考えたりしながら、意欲的に取り組んでいることが分かる。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」との質問に「取り組んでいる」と答えている児童が全国平均よりかなり高いことから道徳の学習に意欲的に取り組んでいる児童が多いことがわかる。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 国語の学習は大切だと思っており、意欲的に取り組もうとしているが、「国語の学習が好きですか」の質問項目に「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が全国平均よりも高い傾向にある。学び合う良さや楽しさを実感したり、物事を多角的・多面的にとらえ、考えたりすることに課題がある。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 新聞を読んでいる児童が全国平均より多い。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童が全国平均より多い。
- 「朝食を毎日食べる」「毎朝、同じくらいの時刻に起きている」に「はい」と答える児童が全国平均よりも高く、規則正しい生活ができていることがうかがえる。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童が全国平均と比べると低い。
- 失敗を恐れずに挑戦することや、最後までやり遂げようとする事ができていると回答した児童が全国平均と比べると低い。

## 今後の具体的な取組について

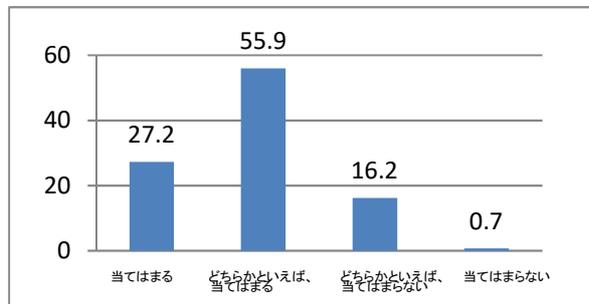
- 国語・算数で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと感じている児童が多いことから、身近な生活場面の提示や、実生活で目にする具体物を教材に扱うなど、生活と密接に関係する学習を行っていることを実感できるように指導や支援に努めていく。
- ICT教育により「1人1台端末」環境が整備された。安全・安心な活用方法の元、ICTスキルの習得と学習内容・学習対象に対して興味関心をもたせ学習意欲を向上させていく。
- 個性や成長・発達段階を踏まえ設定した目標に、児童が前向きに向かっていることができるように、成功体験を積み重ねるとともに将来に向けてのキャリア教育の充実を図る。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 子どもが自分で決めたことや目標を認め、励ましましょう。

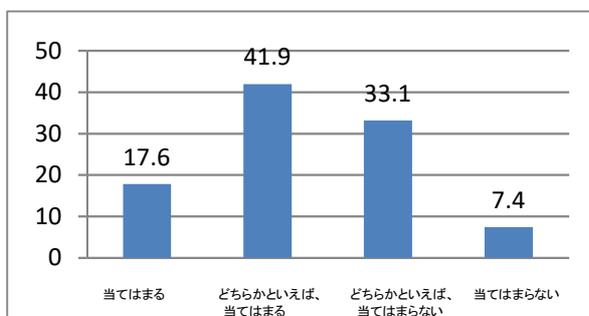
自分で決めたことをやり遂げる経験は自信や主体性につながります。小さなことからでも、自分で目標を決めて達成できるよう励ましましょう。



自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。

## 2 子どもの表現を見守り、励ましましょう。

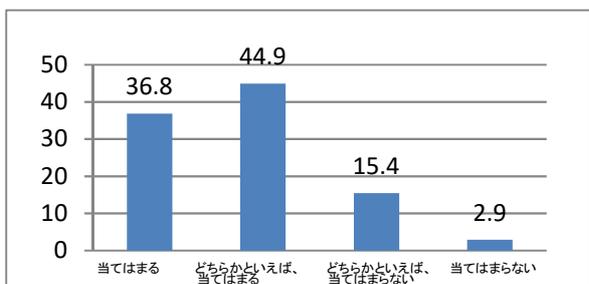
自分で決めたり、自分の言葉で表現したりする経験は、これから生きる力につながります。たどたどしくても、自分の言葉で伝える経験を増やしていきましょう。



自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。

## 3 引き続き、良いところを見つけて伝えましょう。

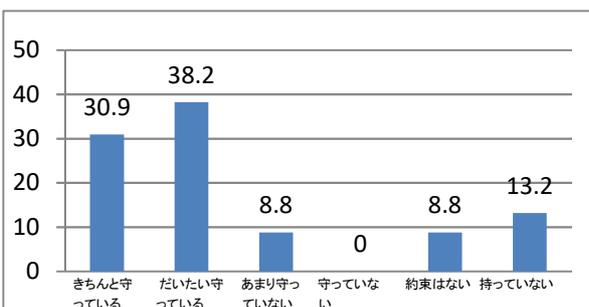
自分の良さを知り、自分を認めることは強い心につながります。これからの時代をたくましく生きていく力を育てるために、引き続き子どもの良いところを認め、伝えていってください。



自分には、よいところがあると思いますか。

## 4 情報利用について、家庭でもルールを確認しましょう。

ご家庭でもインターネットを利用する機会が増えていきます。情報利用についてのルールの確認をお願いします。



携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

## 資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

### 【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

### 【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

## 結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

